

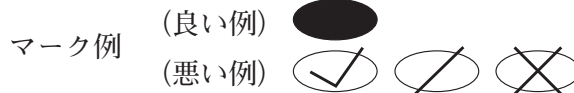
令和3年4月1日付け採用
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

高等学校 商業

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。解答については、本冊子の裏表紙の＜解答上の注意＞をお読みください。ただし、問題冊子は開かないでください。



第1問 基礎的・総合的科目とマーケティング，ビジネス経済分野について1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は，業務発注の手法について述べたものである。 に該当する語句を，下のa～cから一つ選びなさい。

インターネットを利用し，不特定多数の人々に対して業務内容及び報酬を提示し，業務を発注する手法を と呼ぶ。

- a クラウドファンディング b クラウドインゲアアウト
c クラウドソーシング

(2) 次の文は，商品のライフサイクルについて述べたものである。 に該当する語句を，下のa～cから一つ選びなさい。

市場に出回っている同類の商品にほとんど違いがなくなり，各企業が提供する商品の価値について，消費者が違いを認識できなくなっていく状況を，商品の という。

- a コモディティ化 b 差別化 c ソフト化

(3) 次の文は，販売促進について述べたものである。 に該当する語句を，下のa～cから一つ選びなさい。

販売促進に伴う諸活動について，全体として相乗効果を発揮し，最大の効果が得られるように考えられた組み合わせを， という。

- a メディア ミックス b プロモーション ミックス
c 製品ミックス

(4) 次の文は，販売促進戦略について述べたものである。 に該当する語句を，下のa～cから一つ選びなさい。

主に広告を利用して商品の知名度を上げ，そのことにより消費者の指名買いを促し，大量販売を実現しようとする戦略を と呼ぶ。

- a プル戦略 b プッシュ戦略 c リバート政策

- (5) 次の文は、マーケティングについて述べたものである。 , , に該当する語句を、下の a～e から一つずつ選びなさい。

市場のニーズや消費者の動向など、様々な情報を得て、適切な判断を行うために、様々なマーケティング手法が用いられる。

市場全体を、似たニーズを持つ顧客の集まりごとに区切り、いくつかの部分市場に分ける作業を と呼ぶ。また、自社が対象とする顧客層を明確にし、複数の部分市場の中から標的とするものを選定する作業を と呼ぶ。

競争する企業の商品と自社の商品の差別化を図る必要もある。自社の商品が他社の商品と似たようなものにならないように、商品の価値に違いを出し、市場での存在感を明確にする作業を と呼ぶ。

- a セグメンテーション
- b オーダリー マーケティング
- c ポジショニング
- d ショー ルーミング
- e ターゲティング

- 2 次の (1)～(4) の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、標本調査について述べたものである。 に該当する語句を、下の a～c から一つ選びなさい。

A社は、自社の顧客データベースに登録されている顧客に通し番号を付け、くじ引きを行って、1,000名を調査対象として選び出した。このような標本の抽出法を と呼ぶ。

- a 単純無作為抽出法
- b 層化抽出法
- c 等間隔抽出法

- (2) 次の文は、4 P 政策について述べたものである。この文を参照し、4 P 政策を示す4つの英単語の組み合わせとして適切なものを、下のa～cから一つ選びなさい。

ケ

4 P 政策は、S T Pによって導き出した価値を具体的な商品に創造する「商品計画」、創造した商品の価値を貨幣で表す「販売価格」、商品を消費者が購入できる場所まで移動する「販売経路」、商品の購買を促す「販売促進」の4種類で構成される。

- a Plan, Push, Place, Publicity
- b Product, Price, Push, Pull
- c Product, Price, Place, Promotion

- (3) 次のグラフは、「メディア別広告費の推移」を示したものである。グラフの①～④に入るメディアの組み合わせとして適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

コ

- | | | | | |
|---|-----------|-----------|-------|-------|
| a | ① 新聞 | ② インターネット | ③ 雑誌 | ④ ラジオ |
| b | ① インターネット | ② 新聞 | ③ 雑誌 | ④ ラジオ |
| c | ① 新聞 | ② インターネット | ③ ラジオ | ④ 雑誌 |
| d | ① インターネット | ② 新聞 | ③ ラジオ | ④ 雑誌 |

(4) 循環型社会形成推進基本法のもと、資源有効利用促進法や各種リサイクル法などが制定され、環境と経済が両立した循環型社会を形成するための取り組みとして、3R政策が推進されている。3R政策を示す、Rで始まる3つの英単語とその意味の組み合わせとして適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a Reduce (廃棄物の発生抑制), Recall (欠陥製品の回収), Recycle (再資源化)
- b Reduce (再資源化), Reuse (再使用), Recycle (廃棄物の発生抑制)
- c Reduce (再資源化), Recall (欠陥製品の回収), Recycle (廃棄物の発生抑制)
- d Reduce (廃棄物の発生抑制), Reuse (再使用), Recycle (再資源化)

3 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) A社は、仕入原価¥1,000に利幅¥400を加え、販売価格を¥1,400に設定した。この時、値入率を求める計算式として適切なものを、次のa～cから一つ選びなさい。

a $\frac{¥400}{¥1,000} = 40\%$ b $\frac{¥400}{¥1,400} = \text{約}28.6\%$ c $\frac{¥1,000}{¥1,400} = \text{約}71.4\%$

(2) ある商品を¥2,850,000で仕入れ、諸掛りとして¥150,000を支払った。この商品を諸掛込原価の30%の利益をみて定価をつけたが、¥3,510,000で販売した。値引額は定価の何%であったか。次の . にあてはまる数字を答えなさい。ただし、小数点以下が出た場合は、%表示で小数第1位未満を四捨五入して求める。

. %

第2問 会計分野について1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の問いについて答えなさい。

(1) 次の取引の仕訳を、下のa～dから一つ選びなさい。 ア

高知商事株式会社は、設立に際し、株式500株を1株につき¥90,000で発行し、全額を引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。

ただし、1株の払込金額のうち¥30,000は資本金に計上しないことにした。

なお、設立に要した諸費用¥600,000は小切手を振り出して支払った。

	借 方		貸 方	
a	当座預金	45,000,000	資本金	15,000,000
	創立費	600,000	資本準備金	30,000,000
b	当座預金	45,000,000	当座預金	600,000
	設立費	600,000	資本金	30,000,000
c	当座預金	45,000,000	利益準備金	15,000,000
	創立費	600,000	当座預金	600,000
d	当座預金	45,000,000	資本金	30,000,000
	設立費	600,000	利益準備金	30,000,000
			当座預金	600,000

(2) 次の取引の仕訳を，下の a～d から一つ選びなさい。

期首に満期保有の目的で発行と同時に買い入れた次の社債について，半年分の利息を現金で受け取るとともに，決算に際して評価替えを行った。

ただし，社債の額面金額と取得価額の差額は，帳簿価額に加算する方法（償却原価法）を行っている。

額面総額	¥5,000,000	払込金額	額面¥100につき¥98
償還期限	10年	利率	年5% 利払い 年2回

	借 方		貸 方	
a	現 金	125,000	有価証券利息	135,000
	売買目的有価証券	10,000		
b	現 金	125,000	有価証券利息	135,000
	満期保有目的債券	10,000		
c	現 金	125,000	有価証券利息	225,000
	満期保有目的債券	100,000		
d	現 金	125,000	有価証券利息	125,000
	満期保有目的債券	10,000	有価証券売買益	10,000

(3) 次の取引の仕訳を，下の a～d から一つ選びなさい。

さきに，高知商店から商品¥200,000を仕入れ，代金として得意先土佐商店あて，高知商店受け取りの為替手形を振り出し，土佐商店の引き受けを得て渡したときに，誤って約束手形を振り出したとして記帳していたことが判明したので，本日，これを訂正した。

	借 方		貸 方	
a	売 掛 金	200,000	支払手形	200,000
b	受取手形	200,000	買 掛 金	200,000
c	買 掛 金	200,000	受取手形	200,000
d	支払手形	200,000	売 掛 金	200,000

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 高知商店(個人企業)の繰越試算表と資料によって、下の問いに答えなさい。なお、繰越試算表の売掛金、繰越商品の借方の金額は、必要に応じて求めなさい。

繰越試算表 令和元年12月31日			資料	
借方	勘定科目	貸方	i 期首の資産	
1,415,000	現金		現金	¥1,078,000
()	売掛金		売掛金	900,000
()	繰越商品		商品	540,000
600,000	備品		備品	750,000
	買掛金	832,000	ii 期間中の掛売上高	¥9,000,000
	借入金	700,000	iii 期間中の売掛金回収額	¥8,950,000
	資本金	2,000,000	iv 期間中の追加元入額	¥ 100,000
3,532,000		3,532,000	v 期間中の引出金	¥ 250,000
			vi 当期純利益	¥ 405,000

① 期首の負債総額として適切な金額を、次のa～cから一つ選びなさい。

工

a ¥1,523,000 b ¥1,745,000 c ¥1,532,000

② 期末の売掛金として適切な金額を、次のa～cから一つ選びなさい。

オ

a ¥900,000 b ¥925,000 c ¥950,000

- (2) 高知商店（個人企業）の本店・支店の貸借対照表と未達事項および本支店合併後の貸借対照表によって、次の各問いに答えなさい。なお、貸借対照表の空欄部分は、必要に応じて求めなさい。

本店貸借対照表
令和元年12月31日

資産		金額	負債・純資産		金額
現金	350,000	支払手形	980,000		
座預金	2,020,000	買掛金	750,000		
売掛	1,590,000	資本	()		
商備	()	当期純利益	812,000		
支	1,470,000				
	750,000				
	()				()

支店貸借対照表
令和元年12月31日

資産		金額	負債・純資産		金額
現金	250,000	支払手形	900,000		
座預金	()	買掛金	()		
売掛	40,000	本	472,000		
商備	340,000				
備	246,000				
当期純損失	()				
	()				()

本支店合併後の貸借対照表

貸借対照表
令和元年12月31日

資産		金額	負債・純資産		金額
現金	()	支払手形	()		
座預金	2,680,000	買掛金	1,282,000		
売掛	1,630,000	資本	4,560,000		
商備	(ア)	当期純利益	(イ)		
備	1,716,000				
	()				()

未達事項

- ① 本店から支店に発送した商品¥100,000(原価)が、支店に未達である。
- ② 支店で本店の買掛金¥180,000を支払ったが、本店に未達である。
- ③ 本店で、支店受取分の手数料¥40,000を受け取ったが、支店に未達である。
- ④ 支店で、本店の広告料¥38,000を立て替え払いしたが、本店に未達である。

① 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額として適切な金額を，次の a～c から一つ
選びなさい。

a ¥532,000 b ¥535,000 c ¥540,000

② 本支店合併後の商品（アの金額）として適切な金額を，次の a～c から一つ
選びなさい。

a ¥440,000 b ¥1,262,000 c ¥1,362,000

③ 本支店合併後の当期純利益（イの金額）として適切な金額を，次の a～c か
ら一つ選びなさい。

a ¥264,000 b ¥266,000 c ¥268,000

3 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 企業会計原則の「明瞭性の原則」について述べたものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 財務諸表の作成に当たり、利害関係者が正しい判断ができるように、企業の内容を法律や規則が定めるとおりに、科目の区分、配列、分類を行った。
- b 株主総会に提出する計算書類と、税務署に提出する財務諸表の形式は異なっているが、基となる数値は同一の会計記録に基づくものでなければならない。
- c 貸借対照表を、正確な会計帳簿に基づかず、資産および負債の実地棚卸を行って作成した。
- d 商品売買業を営む会社が、先入先出法で行っていた商品の在庫管理の記帳を、今期から移動平均法に変更した。

(2) 次の貸借対照表を見て、流動比率として正しい数値を求めなさい。ただし、%表示で小数第1位未満を四捨五入して求める。 . %

貸借対照表
令和2年3月31日

高知商店

資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現 金 預 金	2,450,000	支 払 手 形	7,500,000
受 取 手 形	3,300,000	買 掛 金	6,250,000
売 掛 金	4,510,000	未 払 法 人 税 等	920,000
有 価 証 券	2,050,000	長 期 借 入 金	9,500,000
商 品	5,060,000	退 職 給 付 引 当 金	4,500,000
建 物	5,000,000	資 本 金	8,000,000
備 品	3,500,000	資 本 準 備 金	280,000
土 地	9,000,000	利 益 準 備 金	500,000
特 許 権	2,500,000	別 途 積 立 金	140,000
の れ ん	800,000	繰 越 利 益 剰 余 金	1,280,000
投 資 有 価 証 券	700,000		
	38,870,000		38,870,000

- (3) 高知商店は、令和2年3月31日に、土佐商店の発行する株式の70%を¥30,000,000で取得して支配した。次の貸借対照表を見て、連結修正仕訳におけるのれんの金額を、下のa～cから一つ選びなさい。ただし、資産と負債の時価は帳簿価額と等しいものとする。

貸借対照表
令和2年3月31日

土佐商店		(単位：円)	
資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現 金	10,000,000	支 払 手 形	4,000,000
当 座 預 金	7,000,000	買 掛 金	2,950,000
売 掛 金	12,000,000	資 本 金	35,000,000
商 品	7,950,000	利 益 剰 余 金	6,000,000
備 品	11,000,000		
	47,950,000		47,950,000

a ¥1,300,000 b ¥17,700,000 c ¥30,000,000

- (4) 高知製作所において、X製品を1,000個製造・販売したときの直接原価計算による損益計算書は次のとおりである。下の問いに答えなさい。

損益計算書		
高知製作所		(単位：円)
I	売上高	3,000,000
II	変動売上原価	<u>1,500,000</u>
	変動製造マージン	1,500,000
III	変動販売費	<u>600,000</u>
	貢献利益	900,000
IV	固定費	
	1. 固定製造間接費	400,000
	2. 固定販売費及び一般管理費	<u>200,000</u> 600,000
	営業利益	<u><u>300,000</u></u>

- ① 販売数量が8,000個のときの貢献利益として正しい金額を、次のa～cから一つ選びなさい。

a ￥5,200,000 b ￥6,200,000 c ￥7,200,000

- ② 損益分岐点の売上高として正しい金額を、次のa～cから一つ選びなさい。

a ￥1,000,000 b ￥1,500,000 c ￥2,000,000

- (5) 高知製作所は、標準原価計算を採用し、A製品を製造している。次の資料を見て下の問いに答えなさい。ただし、直接材料は製造着手の時にすべて投入されるものとする。なお、完成品の数量は計算で求める。

資料

1) 標準原価カード

A製品			
<u>標準原価カード</u>			
	<u>標準消費数量</u>	<u>標準単価</u>	<u>金額</u>
直接材料費	5 kg	¥700	¥3,500
	<u>標準直接作業時間</u>	<u>標準賃率</u>	
直接労務費	3 時間	¥1,000	¥3,000
	<u>標準直接作業時間</u>	<u>標準配賦率</u>	
製造間接費	2 時間	¥300	¥ 600
	製品1個あたりの標準原価		<u>¥7,100</u>

2) 生産データ

月初仕掛品	100個 (加工進捗度75%)
当月投入	<u>3,500個</u>
合計	3,600個
月末仕掛品	<u>300個</u> (加工進捗率50%)
完成品	<u>() 個</u>

- ① 完成品の標準原価として正しい金額を、次の a～c から一つ選びなさい。

a ¥23,430,000 b ¥24,850,000 c ¥25,560,000

- ② 月末仕掛品の標準原価として正しい金額を、次の a～c から一つ選びなさい。

a ¥1,590,000 b ¥2,040,000 c ¥2,130,000

第3問 ビジネス情報分野について1～5の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の説明文に該当するものとして正しいものを、それぞれ下のa～cから一つずつ選びなさい。

(1) 2進数の1111と、10進数の7の積を表す2進数。

a 1111001 b 1101011 c 1101001

(2) 横800ドット、縦600ドットの静止画像を、65,536色(16ビット)で表現するときのファイルサイズはいくつか。ただし、1KB=1,000Bとし、静止画像は圧縮しないものとする。

a 120KB b 960KB c 12,000KB

(3) 企業や学校など、場所を特定して、複数のコンピュータのソフトウェアを複数のユーザで利用することを認める権利。

a サイトライセンス b フリーウェア c プラグイン

(4) マークシートに光を当て、光の反射で塗りつぶされたマークの位置を読み取る装置。

a バーコードリーダー b OCR c OMR

2 次の表は、あるタクシー会社の「タクシー料金概算表」である。2kmまでの走行距離の場合は一律¥750の料金であり、2kmを超えた走行距離の場合は、300mにつき100円が加算される。また、午後11時を過ぎると、深夜料金として料金が2割増しとなる。B4に設定する式の空欄 ， にあてはまる適切なものを、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。ただし、B4に設定する式をB4～C7にコピーするものとする。

$$= (\$B\$1 + \text{} (\text{VALUE}(\text{LEFT}(\$A4,1)) * 1000 / 300, 0) * 100) * \text{VALUE}(\text{MID}(\text{}, 4, 3))$$

	A	B	C
1	基本料金 (2km まで)	750	
2			
3	超過距離	昼間(1.0)	深夜(1.2)
4	1km	1,150	1,380
5	2km	1,450	1,740
6	5km	2,450	2,940
7	9km	3,750	4,500

- a C\$3 b ROUNDDOWN c B\$3 d ROUNDUP e SUMIF

- 3 ある学習塾では、生徒が受講する学習コースの状況を、次のようなりレーショナル型データベースで管理している。次の(1)～(3)のSQL文によって抽出されるデータをそれぞれ下のa～cから一つずつ選びなさい。

学習コース表

コースコード	コース名	料金	教科コード
C01	数学特訓	2500	KY02
C02	英語実務	2000	KY05
C03	生物探求	1500	KY03
C04	古典 I	1700	KY01
C05	Reading	1800	KY05
C06	統計	2000	KY02
C07	現代文 α	1300	KY01
C08	簿記会計	2700	KY06

分類表

教科コード	教科名
KY01	国語
KY02	数学
KY03	理科
KY04	社会
KY05	英語
KY06	その他

講師表

講師コード	講師名	性別
K01	青木 太陽	男
K02	青山 千景	女
K03	小山 大祐	男
K04	斉藤 由紀	女

実務記録表

日付	コースコード	教科コード	講師コード	参加人数
7月7日	C01	KY02	K01	12
7月8日	C02	KY05	K02	15
7月9日	C01	KY02	K03	20
7月10日	C03	KY03	K04	8
7月11日	C02	KY05	K02	5
7月12日	C01	KY02	K03	12
7月13日	C03	KY03	K04	25
7月14日	C02	KY05	K02	3
7月15日	C01	KY02	K03	8
7月16日	C04	KY01	K04	11
7月17日	C03	KY03	K04	21
7月18日	C01	KY02	K02	15
7月19日	C02	KY05	K03	18
7月20日	C03	KY03	K03	21
7月21日	C04	KY01	K04	20
7月22日	C01	KY02	K02	12
7月23日	C02	KY05	K04	14
7月24日	C04	KY01	K03	6
7月25日	C03	KY03	K04	18
7月26日	C01	KY02	K02	12
7月27日	C02	KY05	K03	14
7月28日	C03	KY03	K04	16
7月29日	C05	KY05	K04	12

(1) SELECT 講師名 FROM 講師表 WHERE 性別 = '男'

キ

a

青木 太陽
青山 千景
小山 大祐
斉藤 由紀

b

青木 太陽
小山 大祐

c

青山 千景
斉藤 由紀

(2) SELECT コースコード,コース名
FROM 学習コース表,分類表
WHERE 学習コース表.教科コード = 分類表.教科コード
AND 教科名 = '英語'
AND 料金 > 1900

ク

a

C02	英語実務
-----	------

b

C02	英語実務
C05	Reading

c

C02	英語実務
C03	生物探求
C04	古典 I
C05	Reading

(3) SELECT 講師名,日付,コース名,参加人数
 FROM 学習コース表,分類表,講師表,実務記録表
 WHERE 学習コース表.コースコード = 実務記録表.コースコード
 AND 学習コース表.教科コード = 分類表.教科コード
 AND 講師表.講師コード = 実務記録表.講師コード
 AND 学習コース表.コースコード = 'C04'
 AND 講師表.講師コード = 'K04'

ケ

a

斉藤 由紀	7月16日	古典 I	11
斉藤 由紀	7月21日	古典 I	20

b

斉藤 由紀	7月16日	国語	11
斉藤 由紀	7月21日	古典 I	6
斉藤 由紀	7月24日	国語	20

c

斉藤 由紀	7月16日	国語	6
斉藤 由紀	7月21日	国語	11
斉藤 由紀	7月24日	国語	20

- 4 次の表は、ある雑誌の世界で最も住みやすい都市トップ10を一覧にしたものである。作成条件にしたがって、下の(1)～(6)の問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	世界で最も住みやすい都市トップ10一覧表											
2												
3	都市名	地域コード	地域名	安定性	ヘルスケア	文化・環境	教育	インフラ	合計	平均	順位	備考
4	アデレード	4	オーストラリア	95.0	100.0	94.2	100.0	96.4	485.6	97.1	10	
5	メルボルン	4	オーストラリア	95.0	100.0	98.6	100.0	100.0	493.6	98.7	2	○
6	コペンハーゲン	2	ヨーロッパ	95.0	95.8	95.4	100.0	100.0	486.2	97.2	9	
7	カルガリー	5	北アメリカ	100.0	100.0	90.0	100.0	100.0	490.0	98.0	4	
8	バンクーバー	5	北アメリカ	95.0	100.0	100.0	100.0	92.9	487.9	97.5	6	
9	シドニー	4	オーストラリア	95.0	100.0	97.2	100.0	100.0	492.2	98.4	3	○
10	東京	1	アジア	100.0	100.0	94.4	100.0	92.9	487.3	97.4	7	
11	大阪	1	アジア	100.0	100.0	93.5	100.0	96.4	489.9	97.9	5	
12	トロント	5	北アメリカ	100.0	100.0	97.2	100.0	89.3	486.5	97.3	8	
13	ウィーン	2	ヨーロッパ	100.0	100.0	96.3	100.0	100.0	496.3	99.2	1	○
14												
15												
16	地域別集計表							評価表				
17	地域コード	地域名	安定性	ヘルスケア	文化・環境	教育	インフラ	平均	評価	件数		
18	1	アジア	100.0	100.0	94.0	100.0	94.7	97.0~97.5	C			
19	2	ヨーロッパ	97.5	97.9	95.9	100.0	100.0	97.6~98.1	B			
20	4	オーストラリア	95.0	100.0	96.7	100.0	98.8	98.2~98.7	A			
21	5	北アメリカ	98.3	100.0	95.7	100.0	94.1	98.8~99.2	S			

作成条件

- 「世界で最も住みやすい都市トップ10一覧表」は、次のように作成する。
 - 「地域名」は、「地域コード」をもとに、「地域別集計表」を参照して表示する。
 - 「合計」は、「安定性」、「ヘルスケア」、「文化・環境」、「教育」、「インフラ」の数値を合計して求める。
 - 「平均」は、「安定性」、「ヘルスケア」、「文化・環境」、「教育」、「インフラ」の数値の平均を求める。ただし、小数第1位未満を切り捨て、小数第1位まで表示する。
 - 「順位」は、「平均」の値の降順に順位を付ける。
 - 「備考」は、「合計」が上位3位以内の場合に○を表示し、それ以外は何も表示しない。
- 「地域別集計表」は、「地域名」ごと、項目ごとに平均を求め、小数第1位まで表示する。
- 「評価表」の「件数」は、「評価」ごとに件数を求める。

- (1) C4に設定する式として適切なものを次のa～cから一つ選びなさい。ただし、B4のセルに何も入力されていないときはC4に何も表示しない。また、C4に設定した式を、C5～C13までコピーするものとする。

コ

- a =IF(B4="",VLOOKUP(B4,\$A\$18:\$B\$21,2),"")
 b =IF(B4="",,VLOOKUP(B4,A18:B21,2))
 c =IF(B4="",,VLOOKUP(B4,\$A\$18:\$B\$21,2))

- (2) J4には、=ROUNDDOWN(AVERAGE(D4:H4),1) という式が設定されている。この式と同等の結果を得るために設定する式の空欄 、 にあてはまる適切なものを、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

= (AVERAGE (D4:H4) * 10) /

a INT b MOD c VALUE d RAND

a 1 b 5 c 10 d 100

- (3) K4に設定する式として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。ただし、K4に設定した式を、K5～K13までコピーするものとする。

- a =RANK(J4,J4:J13,0)
 b =RANK(J4,\$J\$4:\$J\$13,0)
 c =RANK(J4,\$J\$4:\$J\$13,1)
 d =RANK(J4,J4:J13,1)

- (4) L4に設定する式として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。ただし、L4に設定した式を、L5～L13までコピーするものとする。

- a =IF(I4>=LARGE(\$I\$4:\$I\$13,3),"○","")
 b =IF(I4>=LARGE(\$I\$4:\$I\$13,7),"","○")
 c =IF(I4>=LARGE(I4:I13,3),"○","")
 d =IF(I4>=SMALL(\$I\$4:\$I\$13,3),"○","")

- (5) C18に設定する式の空欄 、、 にあてはまる適切なものを、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。ただし、C18に設定した式を、C18～G21までコピーするものとする。

=AVERAGEIFS(, ,)

a \$C\$4:\$C\$13 b \$A\$4:\$A\$13 c \$B18 d D\$4:D\$13

- (6) 評価表のK19に表示される値を、次の a～d から一つ選びなさい。

a 1 b 2 c 3 d 5

- 5 下の流れ図にしたがって処理するとき、流れ図の テ , ト にあてはまる答えを、それぞれ下の a ~ c から一つずつ選びなさい。

流れ図に関する資料

処理内容

顧客ごとに1ヶ月に利用したパケットデータを読み、代金と代金の合計をディスプレイに表示する。

入力データ

顧客番号 (BAN)	パケットデータ (GB) (PAKE)
×××	××. ×

×は数値, . は小数点を示す

実行結果

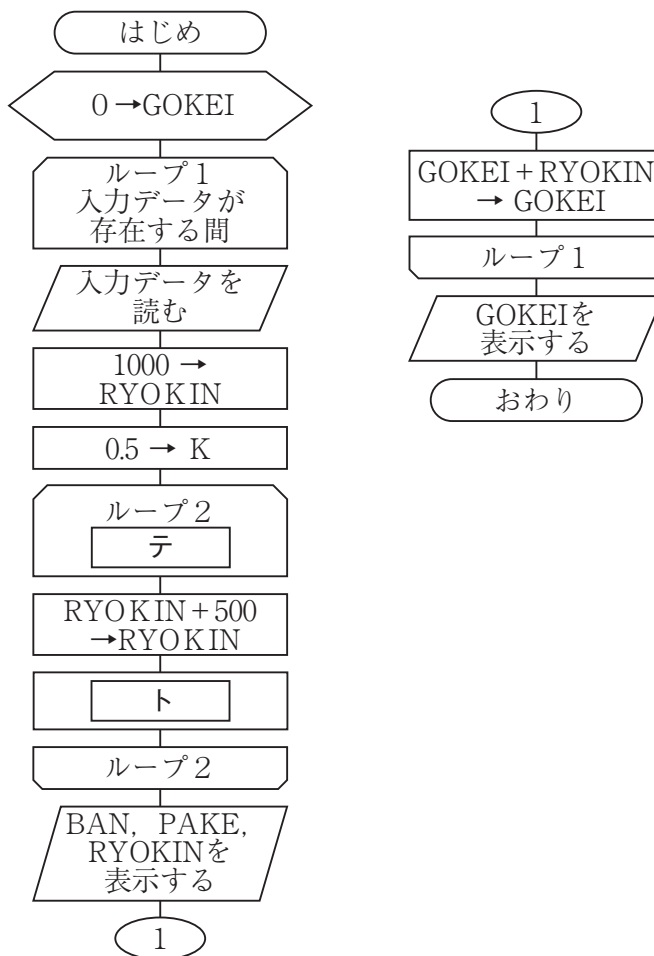
顧客番号	パケットデータ (GB)	(代金)
×××	××. ×	×,×××
∫	∫	∫
×××	××. ×	×,×××
	(合計)	××,×××

処理条件

- (1) 利用したパケットデータ量に応じた代金は次のとおりである。

利用したパケットデータ量 (単位: GB)	代金
0.50 ~ 0.51	¥1,000
1.00 ~ 1.01	¥1,500
1.50 ~ 1.51	¥2,000
2.00 ~ 2.01	¥2,500
2.50 ~ 2.51	¥3,000
3.00 ~ 3.01	¥3,500
3.50 ~	¥4,000

- (2) 3.50GBを超えるパケットデータはないものとする。
 (3) 入力データが終了したら、代金の合計を表示して処理を終わる。



テ

- a PAKE > Kの間 b PAKE = Kの間 c PAKE ≤ Kの間

ト

- a K + 500 → K b K + 0.5 → K c K + 50 → K

第4問 高等学校学習指導要領 商業（平成30年3月告示）について1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「ビジネス基礎」の内容の取扱いに関するものである。□①□, □②□に入る適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。
- ア□

ア 商業教育全般の導入として基礎的な内容を扱うとともに、基本的な用語については、□①□ことができるよう留意して指導すること。

イ □②□の情報を活用するなどして経済社会の動向を捉える学習活動を通して、ビジネスについて理解を深めることができるようにすること。

- a ① ビジネスに関する基本的な用語の英語表記を適宜取り上げる
② 各種メディア
- b ① 英語表記に慣れ親しむ
② 新聞、放送など
- c ① 英語表記に慣れ親しむ
② 各種メディア
- d ① ビジネスに関する基本的な用語の英語表記を適宜取り上げる
② 新聞、放送など

- 2 次の文は、「マーケティング」の内容の取扱いに関するものである。□①□, □②□, □③□に入る適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。□イ□

ア 顧客満足の実現、顧客の創造、□①□などマーケティングの考え方の広がり留意して指導すること。

イ □②□の動向・課題を捉える学習活動及びマーケティングに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、企業で行われているマーケティングについて理解を深めることができるようにすること。

ウ マーケティングに関する□③□などにより確認する学習活動及びマーケティングに関する具体的な課題を設定し、科学的な根拠に基づいてマーケティング計画を立案して提案などを行う学習活動を通して、マーケティングに適切に取り組むことができるようにすること。

- a ① 顧客価値の創造 ② マーケティング ③ 理論を実験
- b ① プロモーション政策 ② マーケティング ③ 理論を意見や助言
- c ① 顧客価値の創造 ② ビジネス ③ 理論を実験
- d ① プロモーション政策 ② ビジネス ③ 理論を意見や助言

3 次の文は、「商品開発と流通」の内容の取扱いに関するものである。□①□, □②□, □③□に入る適切な語の組み合わせを, 下の a ~ d から一つ選びなさい。□ウ□

ア 商品の企画から□①□までを一連のものとして扱い, 流通の立場から捉えた□②□について理解を深めることができるようにすること。

イ 商品開発と流通の動向・課題を捉える学習活動及び商品開発と流通に関する□③□について多面的・多角的に分析し, 考察や討論を行う学習活動を通して, 企業で行われている商品開発と流通について理解を深めることができるようにすること。

- | | | | |
|---|--------------|--------------|----------|
| a | ① 事業計画 | ② 取引対象としての商品 | ③ 当事者の視点 |
| b | ① 流通とプロモーション | ② 顧客の信頼性の確保 | ③ 具体的な事例 |
| c | ① 事業計画 | ② 顧客の信頼性の確保 | ③ 当事者の視点 |
| d | ① 流通とプロモーション | ② 取引対象としての商品 | ③ 具体的な事例 |

4 次の文は、「グローバル経済」の内容の取扱いに関するものである。□①□, □②□に入る適切な語の組み合わせを, 下の a ~ d から一つ選びなさい。□エ□

ア 地球規模で□①□して経済社会の動向・課題を捉える学習活動及び経済のグローバル化に関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し, 考察や討論を行う学習活動を通して, 経済のグローバル化について理解を深めることができるようにすること。

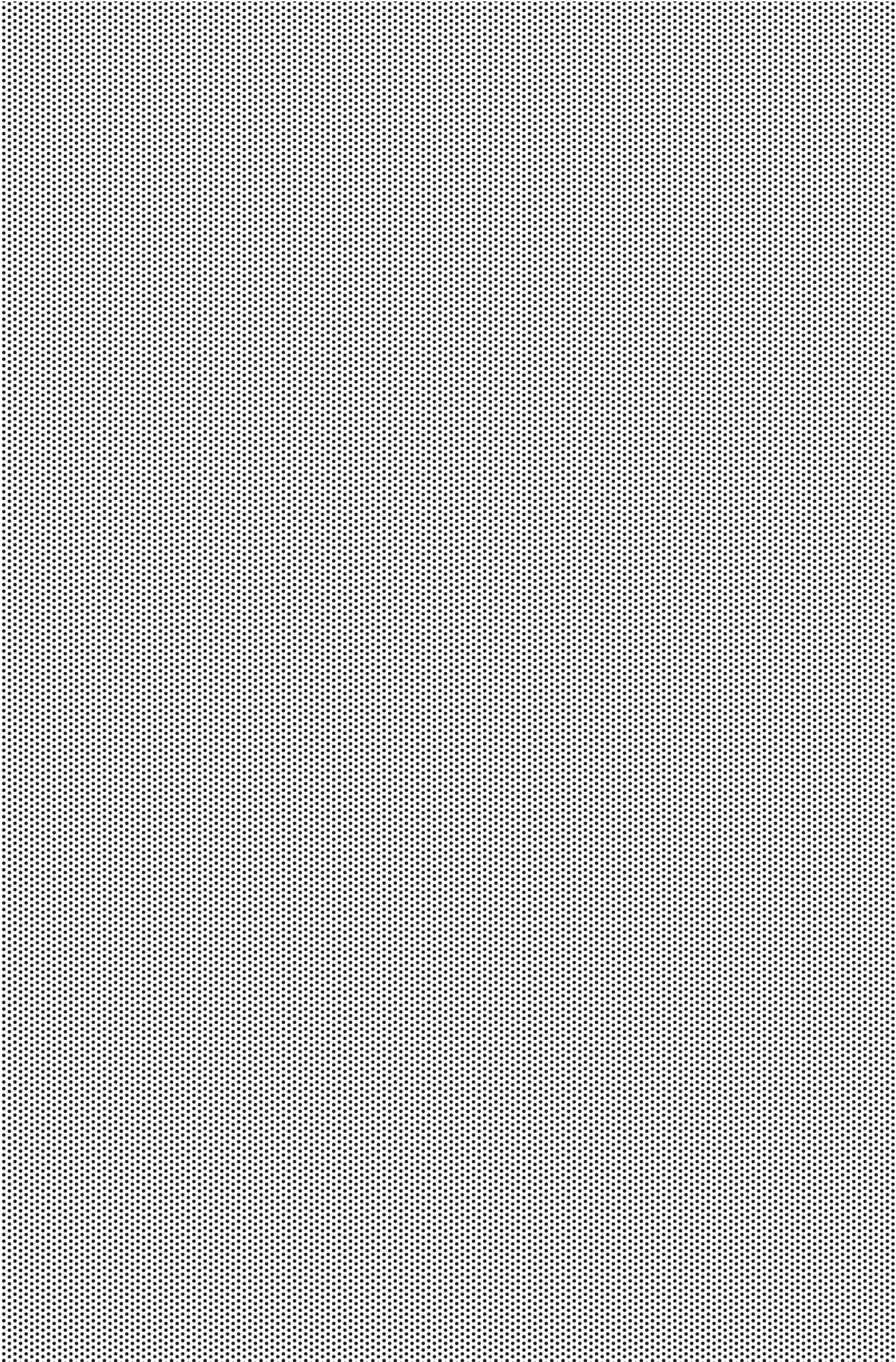
イ 企業における経済のグローバル化への対応に関する具体的な課題を設定し, 科学的な根拠に基づいて□②□して提案などを行う学習活動を通して, ビジネスに適切に取り組むことができるようにすること。

- | | | |
|---|----------------------|----------|
| a | ① 経済に関する理論などに関連付けて分析 | ② 意見や助言 |
| b | ① 経済を俯瞰 | ② 対応策を考案 |
| c | ① 経済に関する理論などに関連付けて分析 | ② 対応策を考案 |
| d | ① 経済を俯瞰 | ② 意見や助言 |

5 次の文は、「ネットワーク活用」の指導項目に関するものである。①, ②, ③に入る適切な語の組み合わせを, 下の a ~ d から一つ選びなさい。オ

- (1) ①とビジネス
 ア ビジネスの変化
 イ 個人情報と知的財産の保護
 ウ 関係法規とガイドライン
- (2) インターネットと情報セキュリティ
 ア インターネットの仕組み
 イ ハードウェアとソフトウェアの導入
 ウ 情報セキュリティの確保
- (3) ②の制作
 ア 図形と静止画
 イ 動画と音声
- (4) ③の活用
 ア ウェブページの制作とデザイン
 イ 企業情報の発信
 ウ 電子商取引と電子決済
 エ ビジネスの創造

- | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|
| a | ① 情報技術の進歩 | ② 情報コンテンツ | ③ インターネット |
| b | ① 情報技術の活用 | ② 静止画と動画 | ③ インターネット |
| c | ① 情報技術の活用 | ② 情報コンテンツ | ③ ウェブページ |
| d | ① 情報技術の進歩 | ② 静止画と動画 | ③ ウェブページ |



<解答上の注意>

出題内容により解答方式が異なります。問題の「ア」, 「イウ」などには, 数字 (0~9), 小数点 (.), 符号 (-, ±), 又は文字 (a, b, c, d, e) が入ります。解答欄のア, イ, ウ, …のそれぞれが, これらのいずれかに対応します。下の (例1) ~ (例4) に従って解答欄をマークしてください。

(例1) 「アイ」に 12 と答えたい場合

ア	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
イ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

(例2) 「ウ」に b と答えたい場合

ウ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

(例3) 「エオ」, 「カキ」に 34.56 と答えたい場合

エ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
オ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
カ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
キ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

(例4) 「クケ」に 7 と答えたい場合

ク	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
ケ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 筆記審査 (専門教養) が終了した後, 解答用紙 (マークシート) のみ回収します。監督者から指示があれば, この問題冊子を, 各自, 持ち帰ってください。

